

## 令和6年度第1回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会の開催結果について（概要）

第1回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を開催し、供給調整の必要性等についてのご意見を頂きました。

### 1 日程及び場所

令和6年6月28日（金）

近畿中国森林管理局 4階 大会議室A（対面Web併用形式にて開催）

### 2 議題

- （1）近畿中国局管内の木材需給動向について
- （2）国有林材供給調整の必要性について
- （3）その他

### 3 議事概要

#### 《検討結果》

国産丸太は、梅雨期を迎え、建築向けの製材需要が低調で製品の荷動きが芳しくなく、原木市況も低調である。

合板については、国産合板メーカーが4月から相次いで値上げに動くとともに、依然として入荷制限が続いている。また、住宅需要は期待されたほど回復せず、当用買いが進んでいる。

チップは、輸入原料コストの上昇や建築廃材チップの減少から、未利用材チップを調達する比率を高める動きもみられる。また、製紙用チップも不足している。

輸入木材は、入荷量は回復していないが荷動きが低調なことから品薄感はない。価格は全般的に強含むが、需給動向が冴えず市場に大きな影響は出ていない。管内の木造住宅着工戸数は、10か月ぶりに対前年同月比で増加に転じたものの、2年以上に渡り減少傾向が続いている。

以上のことから、製材加工関係の荷動きが低調であるものの、製紙原料用を含めたチップ関係の需要は旺盛なことから、直ちに国有林材による供給調整を行う局面にあるとは判断しない。

なお、国有林においては、地域における需給動向等の情報収集・分析を行いながら、素材生産事業の計画的な実施による木材の安定供給に取り組むことが必要と判断するが、木材需給の先行きに不透明感が増す中、需給状況が急激に変化した場合に柔軟に対応するための予防的な措置として、立木販売箇所については、本年度内に搬出期間が終了する契約済みの物件について、買受事業者の希望に応じて搬出期間を延長（1年間を限度）することが望ましい。

## 〈主な情報、意見等について〉

### ○木材の需給動向について

- ・ 和歌山県内の5年次の木材生産需給状況は、住宅着工戸数が減少等により、バイオマス発電所用材の出荷が大きく増加している。製材用材は対前年比87%、合板は対前年比82%、バイオマス用材は対前年比169%となっている。県内在来木造住宅着工戸数は1月～3月で540戸、対前年比96%、対前々年比70%となっている。
- ・ プレカット工場の稼働率は受注も低調なこともあり、例年の約70～80%、製材工場では約50～70%となっている。電気代や輸送コスト等の高騰もあり、先行きの受注も厳しい見通しである。
- ・ 合板価格は昨年9月からやや下降傾向にあるが、合板用原木価格は、なんとか維持している。
- ・
- ・ 島根県内の1月～5月の木材流通量の状況は、前年比1～2%増の見込みで、用途別では、合板用、燃料用チップは増加傾向、製材、製紙用は減少傾向となっている。特に製材用原木の出荷が減少しており、住宅着工戸数の影響が大きく4月は対前年同月比80%となっている。
- ・ 原木価格については、スギ4 m中丸太（14-22cm）は13,400円で対前月比98%、対前年同月比100%。ヒノキ4 m中目は17,000円で対前月比97%、対前年同月比95%と季節的な要因もあり、全体的に下げ基調となっている。
- ・ 合板関係について、原木の在庫量が少しずつ解消されており、供給量については、5月で対前月比113%、対前年同月比147%と大幅に増加している。
- ・ チップ関係については、製紙用は供給に差異があるが、減少傾向にある。燃料用のバイオマス発電所については、中国電力における混焼が始まり、需要量が増えたが、供給が追いついていない状況である。
- ・ 岡山県内のヒノキの相場も、柱口が28,000円から18,000円まで落ち込んでいたが、6月に入ってようやく22,000円まで回復している。原木供給量の減少が要因の一つである。梅雨期の原木価格の下落や資材の高騰で、森林所有者や素材生産業者の出荷意欲が減退し、出材量が全体的に低調のなか、住宅着工戸数の伸び悩みはあるものの、価格の上昇が見られたのではないか。
- ・ 国産材の製品について値上げを行いたいが、需要が弱く値上げが出来ないのが現状である。引き続き国産材丸太は需給動向不透明感がある。
- ・ 奈良県内の原木市場では、寒伐り材の出材は4月に終了し、スギ・ヒノキとも急落した。5月以降は、新木伐採に切り替わっており、例年同様に虫害及び梅雨時期を迎え、民有林の施業・出材量は減少傾向であり、長径級を問わず、価格は下落傾向となっている。また、伐り旬の悪さを考慮して、ヒノキの伐採は控えられつつあり、寒伐り材のスギが遅れて出材されている状況にある。製紙チップ及びバイオマス等の低質材需要は、搬出量が増加していないことから原木不足は続いており、引き合いは引続き旺盛で、価格は安定している。

- ・ BC材は低質材価格の上昇により値差なく、更にA材との値幅が小さくなっている。役物原木はスギ・ヒノキ共に柱角材が低調で、中目～尺上材の品質で値差が大きい状況にある。
- ・ 奈良県の在庫量については、以前から毎回指摘されているが、回転率の悪い役物の在庫を持つことで、他県に比べて数値が異常に高く表示されているのではないかと思う。
- ・ 大阪府内の製品市場では、5月の売上額は前年と比較して売上高が5.7%減、販売量も1.9%減、入荷量は1.7%増となった。木材価格は全体的に需要減で弱含み状況にある。

#### ○今後の見通し

- ・ 和歌山県では、上期の素材生産量は前年並みと予想している。民間事業者が人材雇用を図っており、生産量を伸ばしている。森林組合は森林環境贈与税による森林整備が増えてきたことから、事業バランスによって生産量は若干減少傾向である。
- ・ 6月以降は補助予算による施業も始まるが、先行き市況の不安から、搬出を伴わない森林整備にシフトしており、伐り匂の良くなる秋頃までは生産量の増加は見込めない。

#### ○その他

- ・ 価格住宅価格の上昇、ローン金利、法定金利関係の引き上げ状況等から、依然として製材用材の需要は厳しいと予想される
- ・ 製材の日本農林規格の改正案のパブリックコメント（公示日R6.6.3）について、「機械等級区分構造用製材」のうち各等級に対応する曲げ性能のヤング係数の値の改正において、基準の上限を無くし、平均値及び下限値とした場合、生産実績のヤング係数分布を調べたところ、梁、桁に相当するE110の120×180mmの平角の出現割合が、現行では19.2%であったのが改正案では8.5%となり、複数の等級区分でJASを取得している事業者としては困ったと思っている。
- ・ 製品について、インフレの影響で住宅価格が上昇しているが、トータルコストを抑えるため、プレカット業者への値下げの圧力が非常に強い。プレカット工場としては、供給よりも需要が少ないことから、受注を奪い合っている状況となり、構造材の製品への値下げ圧力となっている。
- ・ 外材について特にベイマツは、アメリカの住宅着工戸数が落ち着いているが、原木価格は高止まっていることと、円安の影響で1年前と比較すると50%のコストアップになっている。それに加えて、運賃・人件費のアップを含めると、製材工場のコストは大幅に上昇している。
- ・ ホームセンターで工作やDIY用の国産材が売れている。製材だけでなく、燃料用なども含めて使い切る経営が必要と考える。

## 令和6年度

### 第1回 近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会

### 出席者名簿

#### 委員

氏名	所属等	備考
立花 敏	京都大学 教授	
原 賢一郎	和歌山県農林水産部森林・林業局 林業振興課長	Web出席
錦 織 誠	島根県農林水産部林業課 管理監（木材振興室長）	
戸川 睦徳	株式会社戸川木材 代表取締役	Web出席
三栖 基史	株式会社山長商店 常務取締役	Web出席
荻原 直樹	中国木材株式会社山林事業部 副本部長	Web出席
難波 芳英	江与味製材株式会社 代表取締役会長	
西垣 泰幸	西垣林業株式会社 会長	

#### 森林管理局

氏名	役職等	備考
川浪 亜紀子	次長	
石上 公彦	森林整備部長	
長屋 秀樹	資源活用課長	
前田 浩二	企画官（長期安定供給）	
川畑 弘樹	供給計画係長	
石田 英夫	行政専門員	

令和6年度 近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属	備 考
学識経験者	たちばな さとし 立 花 敏	京都大学 教授	
都道府県	はら けんいちろう 原 賢 一 郎	和歌山県農林水産部森林・林業局 林業振興課長	W e b 出席
	かけや あきのり 掛 屋 晶 則	岡山県農林水産部 林政課長	ご 欠 席
	にしこおり まこと 錦 織 誠	島根県農林水産部林業課 管理監（木材振興室長）	
素材生産業	とがわ むつのり 戸 川 睦 徳	株式会社戸川木材 代表取締役	W e b 出席
	やぎ かずや 八 木 数 也	株式会社八木木材 取締役	ご 欠 席
木 材 業 界	みす もとふみ 三 栖 基 史	株式会社山長商店 常務取締役	W e b 出席
	おぎわら なおき 荻 原 直 樹	中国木材株式会社山林事業部 副本部長	W e b 出席
	ないとう かずゆき 内 藤 和 行	林ベニヤ産業株式会社 代表取締役社長	ご 欠 席
	なんぼ よしひで 難 波 芳 英	江与味製材株式会社 代表取締役会長	
原木市場 製品市場	にしがき やすゆき 西 垣 泰 幸	西垣林業株式会社 会長	